

# なごや 市民活動通信



2014  
9月号  
No.25  
無料

発行：名古屋市市民活動推進センター

INDEX

特集 管理部門を支える団体の要人（かなめびと）を育もう

シリーズ はち丸くんのちょこっと講座

～認定NPO法人制度の税制優遇（法人の場合）～

## センターニュース



### 足りぬなら、育ててみよう、「かなめびと」 事務職員スキルアップ支援事業

あなたの団体では「かなめびと」、足りていますか？

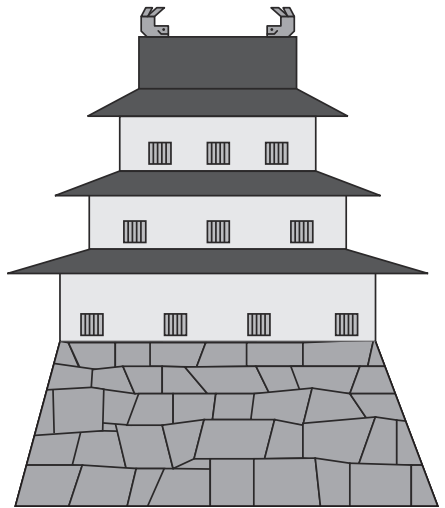
え？「かなめびと」って何のことかって？ よくぞきいてくださいました。「かなめびと」とは、市民活動団体において、会計や税務、労務など、いわゆる「一般管理事務（＝間接部門）」を担う職員さんのことです。

今年度、市民活動推進センターとして、そのような事務職員さんたちのスキルアップを支援していく事業を実施するにあたり、私たちは「そのような事務職員こそ、組織の〈要〉（かなめ）である」という想いを込めて、その事業に、「NPOの要人（かなめびと）応援プロジェクト」という名前をつけました。

組織を城にたとえると、ちょうど事業部門は「天守閣」、間接部門は「石垣」だと考えることができます。団体の運営においては、どうしても「天守閣」（事業部門）ばかりに目がいきがちですが、実は、基礎を支える「石垣」（間接部門）があって初めて、立派な天守閣（＝安定した組織運営）を建てることができます。組織がバランスよく発展していくためには、陽のあたる「天守閣」部分だけでなく、目立たない「石垣」部分もバランスよく成長させていくことが重要だ、というわけです。

今月号の特集でも、事務職員（＝かなめびと）の重要性を取り上げてみましたので、ぜひお読みください。

「要人応援プロジェクト」は、計10回の「スキルアップセミナー」と、税理士、公認会計士、社会保険労務士などの専門家を団体の事務所に派遣して実地指導をしていただく「専門家派遣」の2本立てです。いずれも一次募集は締め切られていますが、空きがある回もありますので、もし参加や支援派遣を希望される場合は、事務局（NPO法人ボランティアネイバース／本業務受託団体 電話（052）979-6446）までお問合せください。



特集

# 管理部門を支える団体の「要人」を育もう



「この社会課題を解決しなければ!」と、NPOはとかく「事業」に熱心なあまり、「管理」は後回しになりがち…。しかし、会計・税務・労務といった管理業務は、その大切な事業を支える組織の安定・成長に不可欠な“要”でもあります。こうした業務を担う職員を“要人(かなめびと)”として、その役割を考えてみたいと思います。

## ●ポイント1 管理業務ってどんな仕事があるの？

右記4つが基本の柱。いずれも直接の利益は生み出しませんが、「ひと・もの・かね・情報」といった組織運営の資源の確保・活用に関わる重要な役割です。まずは、管理業務の大切さについて組織のメンバーと共通認識を持つようにしましょう。

### ① 会計・税務

入出金管理等、決算書作成に加え、予算作成・予算実績管理・資金繰りなど資金面から運営に関わります。

### ② 人事・労務

雇用関係の秩序をつくと共に、人材の確保・育成・評価の仕組みをつくります。

### ③ 情報システム

情報データを確実に収集・管理し、情報を活用できる環境づくりや業務の標準化を進めます。

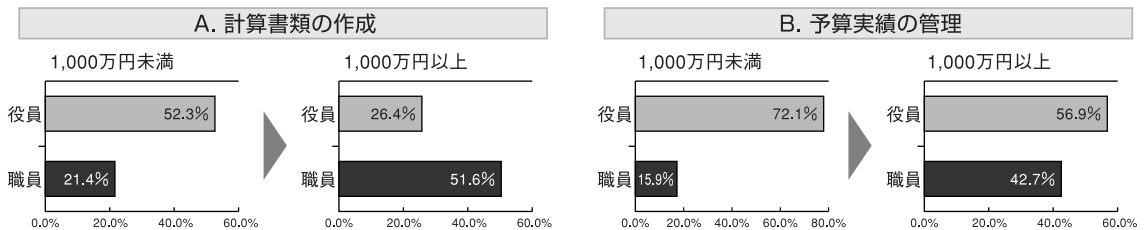
### ④ 総務・法務

会員や文書の管理、会議機関の運営、登記や規程に関わる事務等、幅広く組織運営に関わります。

## ●ポイント2 管理業務を誰が担う？ — 私の団体の要人はどんな人 —

設立当初は、リーダーが組織運営のほとんどを担うパターンが多いのですが、1,000万円以上の財政規模になると、「A: 計算書類作成」は役員から職員がメインに、また、「B: 予算実績管理」も職員が担う率が高まります(下図)。こうして、役割分担が進むことで、資源の管理、リスク回避、経営判断をより確実に行うことができるのです。

■ (財政規模別) 団体内で誰が会計事務を担っているか? (愛知県「NPO財務分析調査」(2012)より一部改変して作成。)



従って、財政規模が500万円位になってきたら、管理業務を棚おろして、各業務について、今→1年後→3年後には誰が担うか、将来に向けた計画を立てるようにしましょう。

## ●ポイント3 「要人応援プロジェクト」で、スキルアップをしよう!

9/12 (金)	雇用関係の考え方: ボランティアと雇用職員の位置づけの整理
10/15 (水)	人事評価と管理の考え方
10/29 (水)	助成・委託事業の会計報告の留意点と日常業務のポイント
11/12 (水)	税務申告に向けた会計業務の留意点
11/28 (金)	会計に関わる規定の作成、内部統制の仕組みづくり
12/ 5 (金)	財務分析 会計書類を経営判断に活かす
1/16 (金)	会員管理と寄附者管理、認定NPO法人化を狙う仕組みづくり
2/13 (金)	研修成果の共有と、事務職員の“これから”を考える

そして、担い手のスキルアップも必要になります。そこで、名古屋市では今年度、要人を応援するための「スキルアップセミナー」を10回にわたって開催。

9月～10月は、法令遵守し、やる気アップにつなげる「労務・人事」、10月～1月は、助成・委託事業に欠かせない部門別会計から、会計書類の経営への活かし方までを含む「会計・税務」がテーマになります。経営の判断を伴う内容も多いので、リーダーと実務職員での受講がおススメです!

(文責: NPO法人ボランタリーネイバース(市民活動団体事務職員スキルアップ支援事業担当) 福島・三島・中尾)



## 認定NPO法人制度の税制優遇（法人の場合）



法人が認定NPO法人に寄附をしたらどうなるの？

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額が設けられて、その範囲内で損金算入が認められるんだ。



なんだそれ????

ざっくり言うと、法人税額を計算する際に売上から必要な経費を引くのだけれど、法人が寄附すれば「損金」として経費に含めて一緒に計算できる限度額っていうのがそもそもあるんだ。その限度額のことを「一般寄附金の損金算入限度額」っていうんだな。



一般…ってことは特別でないこと…じゃ、普通のNPO法人さんに寄附をしたとしたら、この一般寄附金の枠内であれば損金としていいってこと？



そういうこと。認定NPO法人に寄附すると「一般寄附金の損金算入限度額」とは別に、別枠の損金算入限度額まで算入していいってことなんだ。

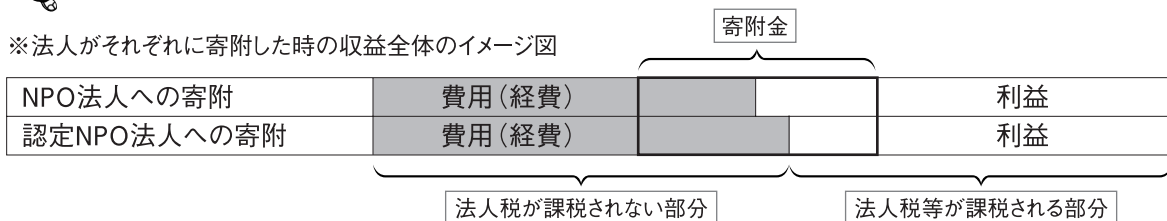


ってことは、寄附をしたNPO法人が「認定NPO法人」なら経費に算入される額が普通のNPO法人より大きくなるってことなのかぁ



寄附をして優遇措置が受けられるのなら寄附もしやすくなるだろうって考えた制度なんだね。

※法人がそれぞれに寄附した時の収益全体のイメージ図



## 7月の設立認証NPO法人

7月に名古屋市が設立の認証をしたNPO法人を紹介します。

名称(五十音順)	目的
東海外国人生活サポートセンター [中川区]	在日外国人等に対して、生活サポートに関する事業を行い、在日外国人等が日本で生活する上での問題の改善や解決を図り、在日外国人等の生活の向上と福祉の増進及び多文化共生への理解の促進に寄与する
至誠会 [千種区]	地域の障害児・者の自立と社会参画活動への支援及び障害児・者が豊かに育つ地域社会環境づくりを推進することにより、障害児・者を取り巻く環境の改善を図り、公益に寄与する



## 7月末現在の所管法人数

★ 認証法人数：772法人

認定法人数：4法人





## 名古屋市民活動推進センター主催講座・イベントのご案内

### 9/24 [水] 助成金入門講座 [アドバイザーによる専門講座]

⇒ 19:00~21:00

10月は助成金募集の多い時期です。この時期に、NPOの資金源の考え方、申請先を選ぶポイント、申請書の書き方のコツを学びましょう。

- 講 師：織田元樹氏 (NPO法人ボラみみより情報局代表)
- 定 員：20名 (先着順・9/11 (木) 受付開始)
- 会 場：市民活動推進センター集会室
- 参 加 費：無料

### 9/27 [土] NPO入門講座 —NPOを交えて—

⇒ 14:00~16:30

「NPOってなに?」「非営利とは?」「NPOとNPO法人はどう違うの?」「NPOってどうやって運営するの?」など、NPOで活動している団体のお話もお聞きしながら、NPOの基礎的な知識を学びます。

- 講 師：市民活動推進センター職員
- ゲスト団体：認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構  
ファンドレイザー (資金調達担当者) 松浦 史典氏
- 定 員：50名 (先着順・受付中)
- 会 場：市民活動推進センター集会室
- 参 加 費：500円

### 10/4 [土] NPO法人設立準備講座

⇒ 14:00~16:00

自分たち自身でNPO法人を設立するんだ!という方向けの講座です。NPO法の概要、NPO法人を設立するために必要な事前準備や手続きなどについて学びます。

- 講 師：市民活動推進センター職員
- 定 員：50名 (先着順・9/11 (木) 受付開始)
- 会 場：市民活動推進センター集会室
- 参 加 費：500円

### 11/15 [土] ボランティアコーディネータ研修 —長続きする受入れ方—

⇒ 14:00~16:30

ボランティアを受け入れるための基本的な考え方やノウハウなどについて学びます。ボランティアがすぐにやめてしまうなどの悩みを抱えている団体の方必見の講座。  
※10/11 (土) 14:00~16:30は「人が集まる募集の仕方」のテーマで開催します。

- 講 師：織田元樹氏 (NPO法人ボラみみより情報局代表)
- 定 員：24名 (先着順・受付中)
- 対 象：ボランティアの受入れ担当スタッフ
- 会 場：市民活動推進センター集会室
- 参 加 費：500円

### NPOアドバイザーによる個別相談のご案内 [無料、要予約]

設立・運営

9/17 [水] 10:00、11:30、14:00、15:30より各1時間

担当アドバイザー

三島知斗世氏

9/24 [水] 16:00、17:30より各1時間

織田元樹氏

講座受講、個別相談のお申込みは、電話・FAX・メールにて受付けます。メール・FAXでお申込みの際は、氏名・住所・電話番号・応募動機をご記入下さい。詳しくは、当センターのホームページ「なごや★ぼらんぼナビ」をご覧ください。

【問合せ・申込先】

名古屋市民活動推進センター

TEL: 052-228-8039 FAX: 052-228-8073

E-mail: npo@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp

URL: http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/

ぼらんぼナビ

検索

スタッフの  
つぶやき

スタッフ：鈴木

厳しい暑さが残るなか、秋にむけて、ボランティア活動が活発になる季節がやってきました。講座の開催をはじめ、窓口では団体紹介や相談など、スタッフ一同ボランティアに興味がある方を全力で応援します!お気軽に市民活動推進センターへお越しくださいませ。

